

■知る・触れる

●観光

方向性	具体的な取組案	活用可能な事業等
①あゆを活用した旅行商品化や体験のための仕組み作り	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>火振り漁見学とそこで獲れたあゆを食べさせる体験メニューの旅行商品化</u> ・ <u>「鵜飼い」や「やな漁」といった漁法を用いた観光メニュー作り</u> ・ <u>子供を対象とした四万十川でのあゆ漁体験の家族連れ向けへの展開</u> ・ <u>あゆに関する体験とSDG s やサステナブル観光を結びつけた教育旅行の企画及び誘致</u> ・ <u>ホテル等宿泊事業者と地域や漁協等が連携した「川遊び」「山遊び」といった自然体験オプションの提供</u> ・ <u>キャンプ場で気軽にあゆ釣りなどの漁業体験が出来る仕組み作り（ハードルを下げてファンを増加）</u> ・ <u>川へのアクセスの良さやトイレがあるといった好条件を活かした友釣り体験観光の仕組み作り</u> 	
②旅行商品化等のための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>駐車場や入川道等の整備、トイレ案内マップの作成</u> 	
③「食」を前面に出した観光キャンペーンへのあゆの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>今後キャンペーンの推進に向けて具体的な取組を検討</u> 	

○課題のポイント

- ・ 受入及び実行体制づくり、実務を担う人材の確保
- ・ 地元漁協及び住民の理解や協力
- ・ 整備予算の確保

■知る・触れる

●食

方向性	具体的な取組案	活用可能な事業等
①県外観光客に県内であゆを食べてもらう仕組み作り（各種イベント開催を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客等が訪れる各種イベントにおいてあゆを食べる機会の創出 ・県内飲食店でのPRイベント等による誘客 ・個人観光客向けの利きあゆ会の実施 ・県内量販店等での販売方法の提案（アウトドア客への食材提供等） 	
②首都圏の飲食店で高知のあゆを食べさせる仕組み作り	<ul style="list-style-type: none"> ・「高知家の魚応援の店」制度の活用 ・「まるごと高知」を活用した高知のあゆの発信及び提供（例：県内複数河川のあゆのセット販売・提供） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高知家の魚応援店制度（試食商談会等への参画）（水産流通課） ・県産品商談会への参画 ・「まるごと高知」でのテストマーケティング（地産地消・外商課）
③県民がもっとあゆに触れられる、食べられる機会及び環境作り	<ul style="list-style-type: none"> ・県内飲食店でのPRイベント等による誘客（再掲） ・県内量販店等での販売方法の提案（アウトドア客への食材提供等）（再掲） ・あゆオーナー制度の導入 ・あゆの販促、PRイベントの開催 ・食育活動でのあゆの使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育推進事業委託業務（水産流通課）
④調理方法や食べ方の提案によるあゆの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆの焼き方等の調理研究によるあゆ提供店での品質の向上 ・塩焼き以外の多彩なメニュー（あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等）のPR及び提供 ・レシピコンテストや協力店舗によるメニュー開発 	

○課題のポイント

- ・集出荷体制の構築、協力店舗の確保
- ・イベント開催や食育での関係者との連携

■知る・触れる

●釣り

方向性	具体的な取組案	活用可能な事業等
① <u>子供たちがあゆに親しむことができる環境づくり</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な漁場の整備 ・友釣り専用区等の夏休みの子ども（親子連れ）への開放 ・子供向け釣りイベントの開催 ・<u>幼稚園でのあゆのつかみ取り体験等</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・友釣り甲子園の開催（鏡川漁協、四万十町）
② 県内遊漁者（特に若い世代）の増加に向けた仕組み作り	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆ釣り師養成講座の開講 ・<u>一般向けのあゆ漁（しゃびき等）体験メニューづくり</u> ・あゆ漁インストラクターの育成 ・<u>祖父から孫への釣り文化や釣り道具の継承</u> ・釣り具レンタルや中古釣り具の譲渡などの仕組み作り ・あゆのルアー釣りの普及 	
③ 県外遊漁者の増加に向けた仕組み作り	<ul style="list-style-type: none"> ・電子遊漁券の導入拡大や共通遊漁券の実施 ・川沿いにあるキャンプ場で気軽にあゆ釣り等の漁業体験が出来る仕組み作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・やるぞ内水面漁業活性化事業（国）

○課題のポイント

- ・体験に係る安全面での確保と指導人材の育成・確保
- ・漁協、遊漁者、関係団体（釣り、釣り具団体など）との連携
- ・電子遊漁券などデジタル技術の活用
- ・河川環境やあゆ資源への配慮

■売る

●加工・流通・販売

方向性	具体的な取組案	活用可能な事業等
① <u>県内各河川のあゆを一元的に扱うための流通体制の構築</u>	・ 県内の商品を扱う地域商社への売り込み	
② 安定した供給量の確保	・ 集出荷システム、冷凍加工、鮮度保持体制の構築	
③ <u>高知県のあゆのブランド化と県外へのPR</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高知県の各河川のあゆのブランド化 ・ 「高知家の魚応援の店」での「あゆフェア」開催 ・ 商談会への「高知のあゆ」ブースの出展 ・ <u>一人利きあゆ会の商品化（県内複数河川のセット販売）</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高知家の魚応援店制度（水産流通課）
④ 商談会への出展等外商活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県や公社主催の商談会への参加 ・ 県内外の量販店、小売り、飲食店等のバイヤーとの商談を通じた販路の確保・拡大 ・ 地域商社と連携した外商活動 	
⑤ <u>消費者と直接つながる販売チャンネルの創出及び既存チャンネルの拡大</u>	・ 流域市町村におけるふるさと納税返礼品への利用拡大	・ ふるさと納税返礼品（各市町村）
⑥ <u>高知のあゆの持つストーリーを伝えることによる消費者との長期的な関係性（ファン・サポーター）作り</u>	・ あゆに関するシンポジウムの定期的な開催	

○課題のポイント

- ・ 集出荷体制の構築、ブランド品質基準の設定
- ・ 新規顧客やリピーター客の確保、認知度の向上

■学ぶ

●体験・教育

方向性	具体的な取組案	活用可能な事業等
①子供たちの釣り体験環境、釣り場環境づくり (再掲)	<ul style="list-style-type: none"> ・稚あゆの放流体験 ・シャクリ漁、投網漁体験、つかみ取り体験 	
②学校の総合学習や社会科などでの釣り体験 の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域の方と連携した環境学習の実施（物部川・鏡川・仁淀川・四万十川では取組有り） 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな環境づくり総合支援事業費補助金（自然共生課） ・高知県清流保全パートナーズ協定事業寄付金（民間）
③資源保護活動の体験機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・漁協や企業と連携した産卵場造成体験、産卵見学会の実施と鮎オーナー制度の導入 	

■その他

●資源保全

方向性	具体的な取組案	活用可能な事業等
①天然あゆ資源の持続的活用に向けた資源保護及びあゆ人工種苗放流	<ul style="list-style-type: none"> ・カワウ及び外来魚の駆除や産卵場造成事業への支援、あゆ人工種苗生産事業の継続・拡大に向けた関係団体による支援 ・流域ごとの天然あゆ資源の保護・回復に向けた長期的なビジョンと短期的に実行するアクションプランの策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁業生産基盤維持向上事業費補助金（漁業振興課）
②天然あゆの安定的な確保や不漁年への対応 の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・資源調査とその分析や放流による漁獲量調整等での資源確保策の提案 	

（集落活動センターが体験観光やあゆ料理の提供を行う場合には以下の支援策が活用可能（中山間地域対策課）

- ・地域の元気づくり事業
- ・高知県集落活動センター推進事業費補助金